



経堂バプテスト教会

# 教会短信

2017年9月17日

No. 74

牧師 間瀬 善彦

今年の夏は、ひとしお暑く感じられました。地域の皆様方は、お元気で過ごしてでしょうか。

最近三浦綾子著「海嶺」を読みました。故郷に帰りたいと願いながら、その願いが果たされなかった主人公たち、真にかわいそうです。しかし、彼らは別のものと出会うことができたのではないのでしょうか。それは、「わたしは羊のために命を捨てる」（聖書、ヨハネ福音書 10:15）と言われるイエス・キリストです。ここで言う「羊」とは、人間のことです。

この本の主人公たち、音吉、久吉、岩吉たち14人は、1832年10月10日尾張（愛知県）熱田港を出発し、江戸の向かう途中、嵐にあって1年2ヶ月間太平洋を漂流します。やっとアメリカ西海岸にたどり着くのですが、その間に11名が亡くなり、生き残ったのは、たった3名でした。インディアンに捕らえられ、奴隷にされてしまうのですが、やがて親切な白人たちに助けられ、アメリカからイギリス、マカオへと5年の歳月をかけて、1837年7月アメリカのモリソン号で日本に送り帰されるのです。しかし、当時日本は鎖国政策を取っており、外国船打ち払い令によって砲撃されたため、船は引き返さざるを得ず、漂流民たちは日本の国に帰ることができなかったのです。彼らは考えます。外国人たちは親切にも、日本にわざわざ自分たちを船で送り届けようとしてくれているのに、なぜ日本の国は自分たちを拒むのか。自分たちは日本の国に捨てられたのだと。その時、岩吉がぼつりと言います。「…そうか、お上（江戸幕府）がわしらを捨てても…決して捨てぬ者がいるのや」。

音吉たち3人は、マカオに滞在中、宣教師ギュッラフと出会い、日本語聖書翻訳のために協力をします。ただ当時日本は、キリスト教は禁止されており、キリシタンに関わると一家すべてが処分されてしまうと考え、自分たちは決してキリシタンになろうともしませんでした。しかし、音吉たちはギュッラフたちと親しく接するうちに、キリシタンの教えが悪いものではないことに気づいていきます。キリストの愛に気づいていったのではないのでしょうか。彼らは、帰りたいと願っていた日本の国に入国を拒まれ、捨てられたと感じた時、自分たちを決して捨てることなく、いつも共にいてくださるお方がいることに気づかされたのです。それは、イエス・キリストです。

## ニューヨーク大学リハビリテーション研究所の 壁に書かれたある患者の詩

大きなことを成しとげるために力を与えてほしいと神に求めたのに、  
謙遜を学ぶようにと**弱さ**を授かった。

より偉大なことができるようにと健康を求めたのに、  
より良きことができるようにと**病弱**を与えられた。

幸せになろうとして富を求めたのに、  
賢明であるようにと**貧困**を授かった。

世の人々の賞賛を得ようとして成功を求めたのに、  
得意にならないようにと**失敗**を授かった。

求めたものは一つとして与えられなかったが、  
願いはすべて聞き届けられた。

神の意にそわぬものであるにもかかわらず、  
生きるうえで本当に大切なことを、すべて教えられた。

私はあらゆる人の中で、もっとも豊かに祝福されたのだ。



左の詩は、わたしにとって最初はわかりにくい詩でしたが、やっと理解できるようになりました。

この詩を書かれた患者さんは、力や健康や富や成功を神に祈り求めたのに、反対の弱さ、病弱、貧困、失敗を与えられました。どんなに悲しかったことでしょうか。しかし、この詩の最後には生きる上で本当に大切なことをすべて教えられた、と書いてあります。

わたしは、あることを願い求め、長年神に祈っています。この祈りはなかなか実現しません。贅沢な祈りではないと思いますが、つらくなることもあります。

聖書のマタイ福音書6章8節に、「あなたがたの父（神）は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」と書いてあります。この聖句の意味は、人は欲しいものを祈り求めます。しかし、神はその人に必要なものを与えてくださるということです。このことがわかってからは、なかなか聞かれないと思っている祈りも、実は神に聞かれているということ、わたしの必要なものが与えられていることがわかりました。

確かに、祈り求めることすべてがかなえられたら、人は何も努力しなくなるでしょう。

別のある本に、人に必要なものは学歴、職歴ではなく、苦歴であると書かれてありました。苦歴とは、人はどれだけ苦労したかが人生の財産となるということです。いろいろな本を通して、左の詩が本当に理解できるようになりました。

K. M



教会玄関です

## 聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

## 聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

## 教会学校（幼児科）

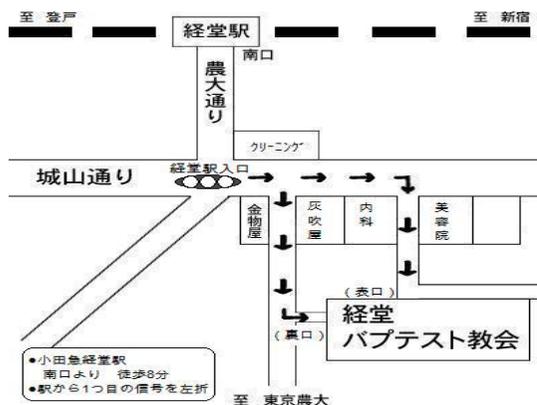
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

## 教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



## 経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。